

年次	学年	子どもたちの活動	指導上の留意点
4.	まとめ	ふと考えたこと	特に議論をまとめないが、子どもの意見への評価的なことはふくめずに、担任が感じたことを最後に話す。

すべての教科書では「バスを待つ人たちが雨宿りをしています」になっている。それがそこで「雨の日のバスを待つルール」なのだろう。しかし例えば、後から来た人が雨に濡れることをいとわず、バス停に並ぶという行為はルール違反なのか、あいまいさが残る。東書だけは「だいたい早く来たじゅんにならんでいるようです。」という表現があるが、それでもルールとしてはあいまいさが感じられる。けれどおそらくそんなあいまいなルールでも、空気を読んで、他人の気持ちを察して秩序を守るというのが、よし子をふくむ子どもたちに求められているのだろう。ただ、気づかずには「ルールを守っていない」ように見られるケースもある。例えば、文化・習慣が違う外国人が地域で暮らす場合などには起こりがちなことだろう。議論をとおして、いろいろな考えや「こうすれば」といった意見が出て、ルールって何だろうなと考える機会になればと思う。

